


# 足立区販売図書一覧

画像	書名・内容紹介	価格(税込)
	<p>『令和3年度文化遺産調査特別展 「谷文晁の末裔」』</p> <p>江戸時代後期、足立の文人活動の中心的な参加者となった、関東画壇の代表格の絵師「谷文晁」。</p> <p>文晁の孫としてその系譜を継いだ二世谷文一に注目し、二世文一が仕えた宮津藩（京都府宮津市）や深い交流を結んだ足立の地をはじめ、各地に残る資料から未だ謎の多いその経歴・活動に迫っていきます。</p> <p>さらに、二世文一と同時代を生きた文晁一門「谷派」の絵師たちの活動を紹介します。</p>	1,200円
	<p>『令和2年度文化遺産調査特別展 「名家のかがやき」』</p> <p>江戸から明治にかけて、足立では美術と文化を愉しむ名家が誕生します。</p> <p>日本最初の和独辞書を発行した日比谷健次郎家、幕府御用絵師狩野派の門人を生んだ石出掃部介家は、ともに狩野派の美術品や文化遺産を今日に伝えました。</p> <p>そうした美術品や教養文化に満ちあふれた逸品を紹介します。</p>	700円
	<p>ビビビ美アダチ</p> <p>ビビビ美アダチは足立区公式X（旧Twitter）に連載した4コマ漫画を加筆・再編集したものです。足立区の文化遺産調査では、これまでの歴史・民俗調査で得た情報の上に新たな情報をひもとき、豊かな足立の美術文化を明らかにしてきました。「ビビビ美アダチ」では、文化遺産調査の成果をわかりやすく紹介しています。</p>	900円

	<h2>足立区基本計画（令和7～14年度）</h2> <p>足立区の「今」と、令和14年度に迎える区制100周年をつなぐ新たな「足立区基本計画」を策定しました。今回の計画では、区が抱える課題に向き合いながらも、未来の可能性を広げていくことを目指しています。4つのボトルネック的課題である「治安」「学力」「健康」「貧困の連鎖」をはじめ、区が直面する課題は多岐にわたります。しかし、これらの課題の克服にチャレンジする中にこそ、区の魅力をさらに高める新たな価値を創造するチャンスがあると確信しています。そのチャンスを掴み、足立区が進化し続けるための原動力として、区民の皆さ一人ひとりの「やりたいことが叶うまち」をテーマに掲げました。</p>	<p>2,900円</p>
---	---	---------------